

勝利へ向けてのアドバイス



6月11日
小学校女子ソフトボール大会
金木小クラブ(芦野グラウンド)

「育てよう 未来にむけての 森林づくり」

第51回

青森県植樹祭

金木町運動公園で開催

記念植樹



くわとスコップを使い
植樹をする鳴海町長と
少年団員たち



木村知事と一緒に
オオヤマザクラを植樹した
喜良市小緑の少年団員



「緑がいっぱい
増えますように」

「育てよう 未来にむけての 森林づくり」をテーマに第五十一回青森県植樹祭が金木町運動公園で開催されました。

県植樹祭が当町で開催されるのは今回が初めてで、県内の林業関係者、緑の少年団員ら約九百人が参加し、郷土の緑化推進に努めました。

野球場で開かれた式典では、主催者を代表して県緑化推進委員会の小笠原恭裕理事長と鳴海町長がいさつ。緑の少年団百六十四人が声を合わせ「緑豊かなまちをつくります」と誓いの言葉を述べたのに続き、木村知事が「金木町は運動公園や大倉岳など自然が豊かで景色も素晴らしい。皆さんの手で植樹を進め、何十年先までも花と緑が豊かな青森

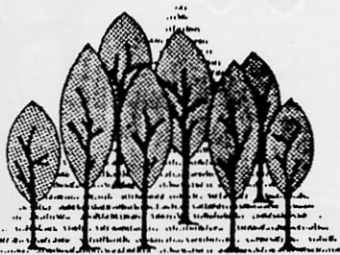
県を目指しましょう」と祝辞を述べました。

その後、出席者全員による記念植樹では、木村知事や鳴海町長らが少年団員と一緒にヒバやオオヤマザクラなど九種、四百六十五本の苗木を公園内に植えました。

また式典の席上、緑化推進に尽力した方々の表彰が行われました。

町内の表彰者は次のとおりです。

- ◆緑化功労者
其田隣蔵（川倉）
- ◆青森県民有林造林・保育
コンクール（保育の部）
第二位 松川清治（嘉瀬）
- ◆青森県学校緑化コンクール
第一位 嘉瀬小学校
- ◆活動優良緑の幼・少年団
喜良市小学校



表彰



▲活動優良少年団に選ばれた
喜良市小学校
(代表 野宮大喜くん)



▲県学校緑化コンクール
第1位の表彰を受ける
横濱 嘉瀬小学校長



▲緑化功労賞を受賞し、
木村知事から表彰状を
受け取る其田瞬蔵さん

緑の少年団員

▶嘉瀬小学校緑の少年団



▶喜良市小学校緑の少年団



記念植樹や合唱で大活躍した
少年団員の皆さん



米谷 哲さん (喜良市)

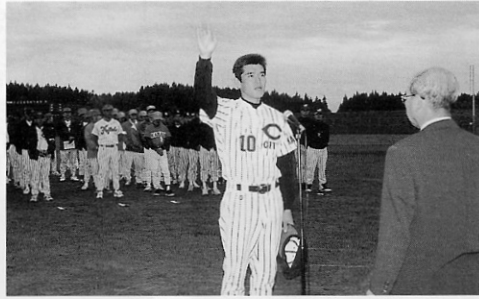
五月十九日、青森グランドホテル（青森市）で開催された国有林野事業職員定期表彰式で、喜良市共用林野組合長の米谷哲さんが青森林友記者賞を受賞しました。

この賞は、東北森林管理局青森分局管内（青森・岩手・宮城県下）の林業にたずさわる方や山火事防止、緑化に協力された方々に、青森林友記者会から贈られるもので、米谷さんは山火事防止の看板設置や巡視員の配置、入林者に対するPR活動などに長年にわたり取り組んできたことが評価されたものです。

米谷さんは「この受賞を励みに今後も山火事防止と山林の美化に努めてまいります」と話していました。

米谷 哲さん 青森林友記者賞受賞

朝野球開幕



▲選手宣誓するCITYIIの石戸谷主将

金木町朝野球協会（理事長
|| 藤元昭逸）主催の平成十二
年度朝野球選手権大会が五月
二十一日早朝、町運動公園野
球場で開催されました。

開会式では、前年度A級優
勝のCITYIIとB級優勝の
藤枝太陽クラブがそれぞれ優
勝旗を返還したの続き、角
田助役が「けがのないように
元気に頑張ってください」と
あいさつ。顧問の中谷照蔵教
育長が選手らを激励しました。
最後に、前年度A級優勝チー
ムCITYIIの石戸谷貞助主

将が「正々堂々とプレーしま
す」と力強く選手宣誓をしま
した。

この後行われた開幕試合は、
抽選により金木町役場とエン
ジェルスが対戦。選手らは、
すがすがしい朝の空気に包ま
れながら白球を追いかけ、さ
わやかな汗を流していました。
今大会には、全十二チーム
二百二十七人の選手が参加し、
A級六チーム、B級六チーム
に分かれてリーグ戦で試合を
行い、七月末まで熱戦を繰り
広げます。

金木高校二年生



▶園児たちとふれあう金木高生

就業体験

金木高等学校の二年生八十
三人が六月十二日から十四日
までの三日間、町内外三十一
か所の企業で「インターンシ
ップ」を実施しました。

この「インターンシップ」
は、就業体験を通して今後の
学習と進路を考えるきっかけ
にしてもらい、勤労に対する
意識を高めるために実施され
ました。

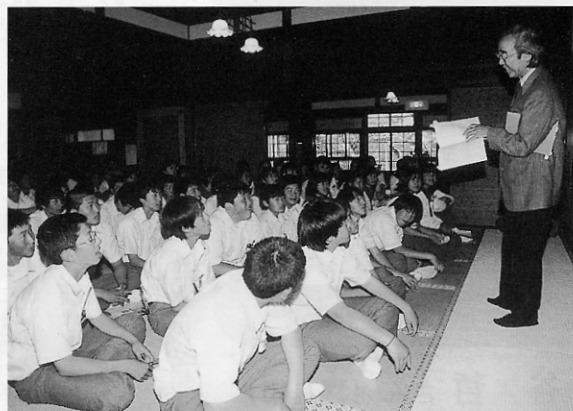
二、三人のグループに分か
れた生徒たちは、町内外の観
光施設や販売店、福祉施設な
どの職場に向かい、担当者
から職場の概要や注意事項に
ついて説明を受けた後、実務
作業を体験しました。

第二保育所で保育を体験し
た三上菜保美さんは「肉体的
にきついけど楽しい仕事。実
際に保育をしてみても、以前よ
り保育士に対する希望が強く
なりました」と感想を話して
いました。

金木中学校

大宰について生家で学ぶ

ふるさと体験学習



▲木下会長の講話に聞き入る生徒たち

金木中学校（校長|| 矢田信
昭）の二年生八十一名が六月
六日、大宰治記念館「斜陽館」
でふるさと体験学習を行いま
した。

この体験学習は、郷土の作
家大宰治について生徒それぞ
れがテーマを持ち、講話を聞
いたり、生家を見学する体験
学習を通して大宰について深
く学び、考える力を養っても
らおうと昨年に引き続き行わ
れたものです。

講話では、木下巽大宰会会
長が大宰作品の本質や魅力、

また大宰文学の原点とは何か
について金木中の生徒たちが
読書感想文を取り上げながら
語りました。生徒らは各自の
テーマをまとめるため、熱心
に聞き入り、大宰文学に対す
る理解を深めていきました。

この後の質疑応答では、生
徒たちから「桜桃忌の由来は
何ですか」「大宰が小説を書
き始めたのはいつごろですか」
と次々に質問が挙げられ、木
下会長の答えにメモをとりな
がら学んでいました。

嘉瀬小学校

米作りの大変さ学ぶ 田植え体験

喜良市小学校

嘉瀬小学校（校長 横濱盛昭）の五年生二十九人が五月二十四日、嘉瀬古町バイパス近くの水田三アールにゆめあかりとユキモチの苗を植えました。



嘉瀬小学校

▲泥だらけになりながら頑張っている児童たち

これは、北農業生産対策推進本部による「わんぱく少年・少女食農体験」の事業で実施され、稲の成育の仕方や稲作に従事している人たちの工夫や努力を実際に体験して学んでもらおうと行われたものです。

児童たちはまず、金木地域農業改良普及センター職員からイネの品種や育ち方、米作りの作業の説明を受け、金澤栄PTA会長から苗の植え方について説明を受け、職員や父兄の方々へ「米作りの大変さを体験したいと思っています。よろしくお願いします」と元気よくあいさつしました。

裸足になり初めて入る田んぼで足をとられて尻もちをつくなど悪戦苦闘しながらも、校長先生から「苗が立派に育つように心をこめて植えるように」と声を掛けられ、丁寧に一株一株、苗を植えていきました。

また、喜良市小学校（校長 小田川修三）の五年生十四名も五月二十六日、体育館横の学校田で田植え体験を行いました。

児童たちは、父兄の協力により植える本数や深さなどアドバイスを受けて手植えに初



どろの手ぶくろ
どろの長ぐつ



喜良市小学校

▲自分の名前を書いた立札を目印に植えました

挑戦。「手付きがいいね」と誉められる児童もいました。児童らにまざって先生や父母らも裸足になり田植えを楽しみ、作業後は全員で豊作祈願をして秋の収穫に期待を寄せていました。

両校の児童たちは今後、定期的に苗の観察を続け、収穫後にはもちつき会を予定しています。

有珠山周辺の子どもたちへ

嘉瀬小学校が義援金送る



中谷教育長に義援金を手渡す子どもたち

「有珠山噴火で学校に行けない子どもたちのために役に立ちたい」と嘉瀬小学校の児童たちが協力し、有珠山火山活動災害義援金を集めて日本赤十字社に送りました。

児童会（全児童数 二百五十四人）が中心となり活動し、集まった義援金（一六、三五七円）を持った代表者三名が五月二十九日に役場を訪れました。中谷教育長に手渡された義援金は、町を通じ日本赤十字青森県支部に送られました。

道行く人にチラシを配り 声を掛ける



ごみゼロ 530運動

「五三〇（ごみゼロ）」にちなんで、五月三十日に金木町消費者協会（会長 福山初枝）の会員八名がごみの減量化運動を行いました。

会員たちは、観光物産館や斜陽館などで通行中の町民や観光客の方たちに「ごみの減量化にご協力お願いします」と呼び掛け、チラシとティッシュペーパーを配りました。